

品野連区（品野台） 市長と地域との懇談会

日 時：令和 6 年 7 月 23 日（火）
午後 7 時から午後 8 時 30 分まで
場 所：品野台地域交流センター
参加者：16 名

【内 容】

市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が進んだので、燃えるごみの量が減り、晴丘センターの負担は減少した。
- ・剪定枝の収集についても、6 月から 11 月までの収集期間の延長も検討している。
- ・ごみ全体の総量では前年から 3% 程の減少と大きく減っていない。
- ・燃えるごみの中で一番多いのは調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品であり、市としてフードロスの削減に取り組みたい。プラスチックも分別されず混ざっていることもあるため、分別の徹底をお願いしたい。

市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- ・現在 6 月市議会にて、下水道料金の改定が議決された。
- ・下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営が求められるところ、汚水処理する費用の約 65% しか使用料で賄えていない。
- ・残りの 35% は税金で補填している現状であり、下水道を利用していない方の税も含まれている。
- ・これまで 24 年間、料金の見直しをしておらず、税からの支出負担が増えていた。
- ・今回の料金改定によって、尾張旭市、長久手市と同水準の経費回収率 80% となる予定である。将来的には 100% の経費改修を目指していく。

地域の課題：地域の活性化

（浄化槽の汲み取りについて）

- ・浄化槽の汲み取りの料金が、他の市と比べて高いように思う。

（ごみの削減について）

- ・住民から、週 1 回の回収を希望する声が多い。
- ・プラスチックごみが汚れていると燃えるゴミになってしまうため、分別の際に、容器を洗うために水を多く使ってしまう。
- ・回収された分別ごみは、その後さらに手作業で分別されていくと聞いた。その分

別作業をしているところを見学させてもらおうと、一層の啓発につながるのではないかな。

- 自分では 99%分別できていると思っているが、実際には約 10%が燃えるゴミに回されていると聞き、分別の意識に差があると感じる。
- 住民に対して「分別」の講習をやってほしい。
- プラスチック製品の分別の仕方が、高齢者などにはわかりづらい。
- 生ごみ処理機の購入費補助額を増やすと燃えるごみの削減に効果的ではないか。

(道路環境について)

- 国道363号線が自転車の通行量が多く危険。上品野町交差点以後について、延伸・拡張してほしい。
- 瀬戸環状線(県事業)について、赤津から品野まで延伸する計画は怎么样了。

- 穴田春雨線(県事業)について、深川地区まで延伸する計画は怎么样了。
- 道路の草がはみ出ているため、自転車が車道を通る際に車と接触しそうになり危険。年2回程度は草刈りをしてほしい。

(地域の交流の場について)

- 上記の道路延伸が実施されると、高齢者等が集う広場がなくなってしまう恐れがある。地域交流センター前の民有地を活用して、住民が集える場を設けてほしい。

(子どもたちの遊び場について)

- 子どもたちが走り回って遊べる場がない。
- 祖父母が孫を連れていける場がほしい。

(岩屋堂について)

- 岩屋堂の店舗を利活用する動きがある。排水用の側溝等の整備を市で実施してほしい。

(自警団・消防団について)

- 担い手不足や高齢化のため、活動が困難になりつつある。
- 可搬動力ポンプをリヤカー(手動)で動かすことが難しくなっている。

(地域計画について)

- 広之田町でソーラーパネルの設置が増えている。企業を誘致するなど、地域を計画的に活用していく必要があるのではないかな。

地域の課題：その他

(「広報せと」について)

- 広報せとの内容が見やすくなった。記事ごとに QR コードがついているのも見やすい。

